



大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針[原案]について

大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部
事務局 都市局都心整備部
大宮駅東口まちづくり事務所



「大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部」（H28.1.20設置）
における検討の成果としてとりまとめた『**大宮駅東口周
辺公共施設再編／跡地活用 全体方針**』（原案）につい
てご審議いただく。



推進本部における検討状況

【第一期】
H24年度～

大宮駅周辺
公共施設再編
推進本部

検討事項

- 大宮区役所の移転
- 大宮図書館の移転
- 市民会館おおみやの駅前再開発への機能移転

【第二期】
H27年度～

大宮駅東口周辺
公共施設再編推進本部

検討事項

- 大宮区役所跡地活用の具体化
- 市民会館おおみや跡地活用の具体化
- 移転や複合化など将来の方向性が決まっていない公共施設の今後について・・・など

第1回
推進本部
H28.1

第2回
推進本部
H28.3

第3回
推進本部
H28.10

第4回
推進本部
H29.3

第5回
推進本部
H29.7

都市経営戦略会議 **(今回)**

今後、市民や専門家の方々への情報提供／意見提案等を行い
方針として取りまとめ
その後、今後設置するプロジェクトチームにおいて
詳細な検討を進める予定



方針の構成



大宮駅東口周辺
公共施設再編／跡地活用
全体方針

序. はじめに



1. 大宮駅東口のまちの特徴



2. 大宮駅東口における公共施設等の現状



3. 公共施設再編による「連鎖型まちづくり」



4. 公共施設再編／跡地活用全体方針

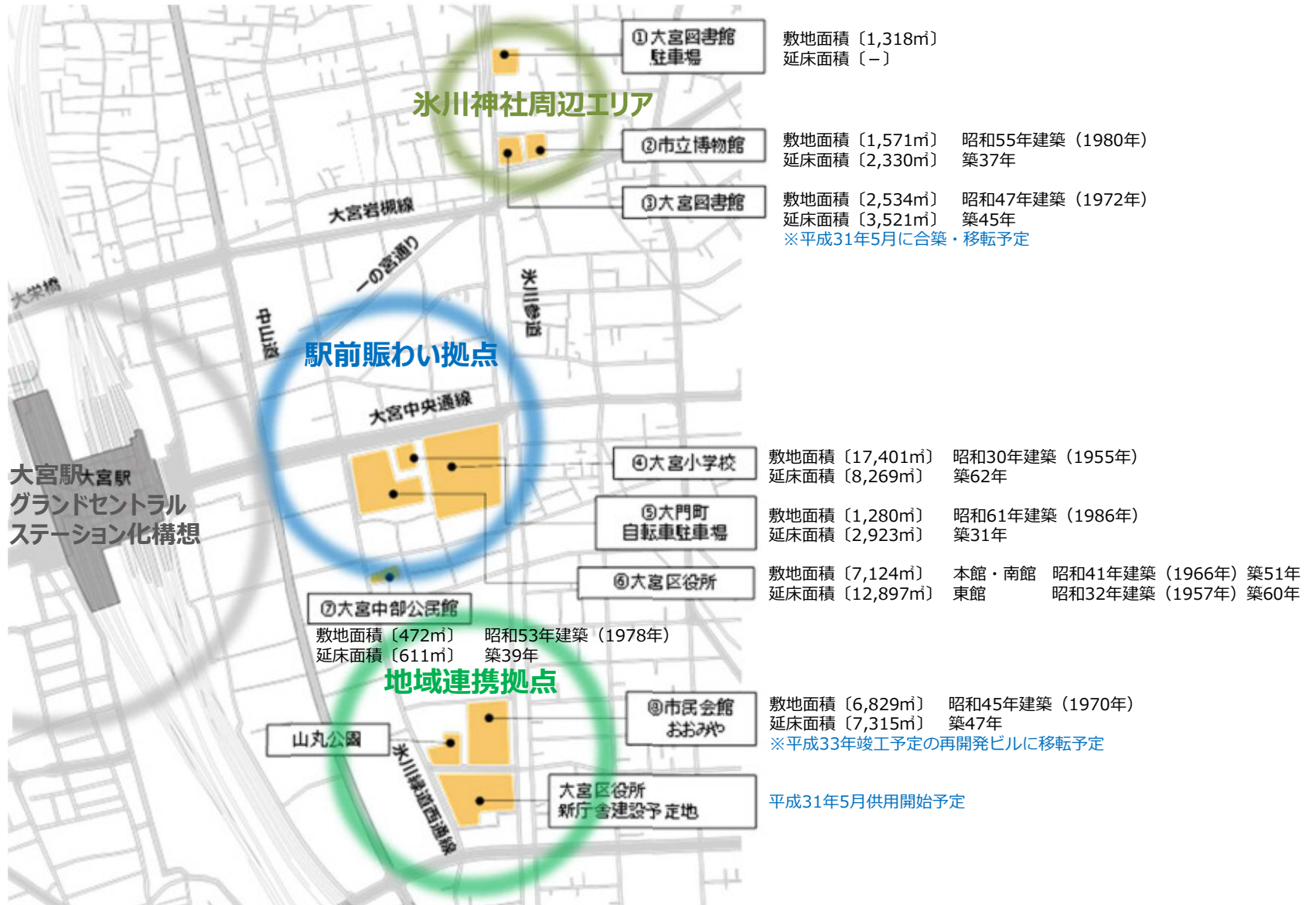
- (1) 連鎖型まちづくりの方針
- (2) 地区別のアクションプラン
- (3) 連鎖型まちづくりの効果



5. 地区別整備の推進に向けた進め方



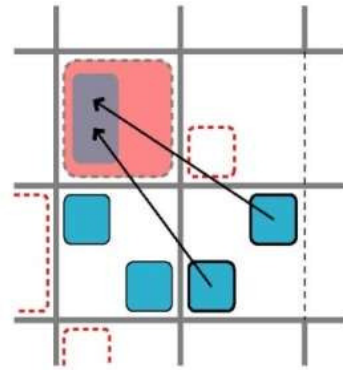
大宮駅東口周辺の公共施設等の現状



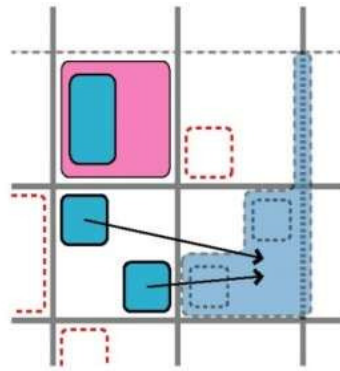
大宮駅東口周辺の公共施設の立地状況



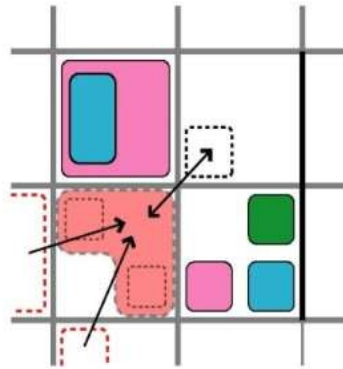
公共施設再編による連鎖型まちづくり



再開発事業等に合わせて、老朽化した公共施設を集約、移転



移転した公共施設跡地を中心に、周辺敷地や道路・公園などを整備



街なかに用地を生み出して、民間まちづくりを促進（仮移転、土地活用など）

「公共施設再編による連鎖型まちづくり」展開イメージ
出典：大宮駅周辺地域戦略ビジョン



現在決まっている公共施設の移転予定

H31年度供用開始予定
※新大宮図書館と複合化6



公共施設再編／跡地活用の方針

全体方針

① 東日本連携

東日本を支える拠点都市としてまちづくりを推進！

- ・東日本の対流拠点都市としての役割を実現するため、東日本の各圏域との連携強化を目指します。
- ・さいたま新都心駅周辺地域との連携を強化し、交通ネットワーク拠点である大宮と、災害時の首都圏バックアップ拠点であるさいたま新都心との一体的なまちづくりを推進します。

② 個性の継承

個性を失わず大宮の魅力を更に強化！

- ・公共施設の再編によって都市機能の強化や合理化を進めつつ、いまある個性を最大限活かします。
- ・まちの魅力や価値を高め、多様な価値観を受け入れる寛容性を備え、点在する個性豊かで魅力的な地域資源を活かし地域の個性とつながり・交わりを持ったまちづくりを進めます。
- ・また、東日本を支える対流拠点都市としてまちづくりを推進します。

③ 公民連携

積極的に民間の力を導入！

- ・積極的に民間事業者や民間団体の力を導入していくことや、アーバンデザインセンター大宮と連携することで、行政だけでは実現困難な魅力的なまちづくりを推進します。
- ・実際のまちづくりにあたっては、公民の連携にとどまらず、民間が主体となることも含め推進していきます。

④ 市民との共有

市民と将来像を共有しながら推進！

- ・公共施設、そして公共用地は、大切な市民の財産であることから、その将来像を市民の皆様と共有し、想いを共にしていきます。
- ・将来像の実現に向けては、各段階で適切な市民参加の手法を用い、実際の利用の主体となる市民の意見を積極的に導入します。



公共施設再編／跡地活用方針

各地区が担う役割



氷川神社周辺エリア

氷川神社周辺という立地に相応しい魅力的な土地活用により氷川の歴史・文化を継承・発信し地域資源と調和した空間を演出するエリア

一の宮通り賑わい交流軸

氷川の杜と駅前周辺地区を結ぶ歴史・文化と観光が交わる賑わいの軸

駅前賑わい拠点

東日本の対流拠点都市の実現に向けて大宮駅GCS化構想と連携するとともに大規模な土地活用によって東日本の拠点性を高める機能の導入する拠点

中央通線東西シンボル都市軸

駅とまちを継ぐ都市活動の中心となるシンボル軸

地域連携拠点

大宮駅とさいたま新都心駅の間に位置する公共施設の集約による都市機能の集積や地域間の連携や回遊性を向上する連携・ネットワークの拠点

氷川参道歴史文化軸

緑が連続し人々が憩う歴史と文化の軸

求められる機能

- 歴史・文化の継承と点在する魅力的な地域資源を回遊する機能向上
- 駅周辺の賑わいを氷川の杜の歴史・文化の薫りを取り込み、まちの奥行きを深める
- 多様な個性が交じり合い、都市の寛容性を高める高質な空間の形成
- 神社・公園・野球・サッカーなど、文化とレジャー・スポーツが混じりあう賑わいの創出

- 賑わいの創出に向けた商業・業務機能の拡大等、都市機能の面的な更新
- 東日本との連携を促進する広域的な交流・連携機能
- 大規模かつ複合的な土地活用による重層的で強靱な都市形成
- 交通結節機能を支える交通機能の充実
- 駅前まちづくりとの連携による大宮駅GCS整備の推進

- 地域住民に活用される歴史・文化・学習・交流機能の集積
- 憩いやゆりの空間ともなる災害時支援機能の強化
- 大宮駅周辺地域とさいたま新都心駅周辺地域の連携を強めるネットワーク機能の強化
- 静かなる賑わいの演出によって氷川の杜の歴史と文化を発信する2Km



地区別のアクションプラン

PHASE1：短期（概ね～2年）

中期（概ね3年～5年）

PHASE2：長期（概ね5～10年）

●大宮駅グランドセントラルステーション化構想

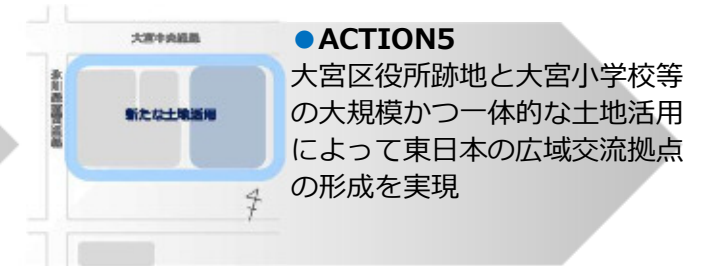
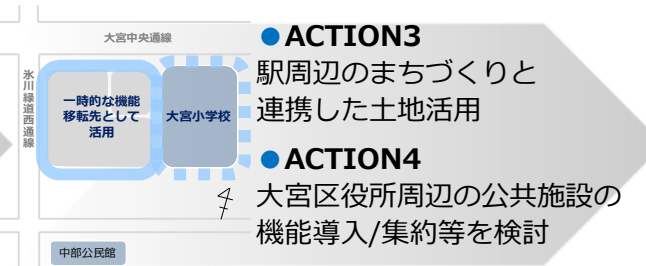
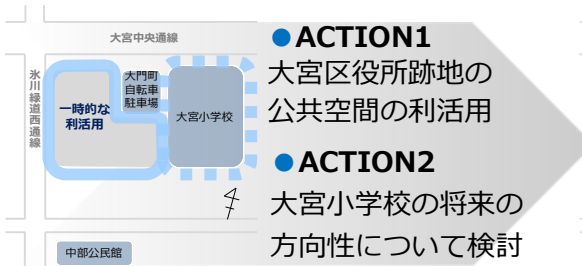
大宮駅
グランドセントラルステーション化構想

個別の
整備計画
策定

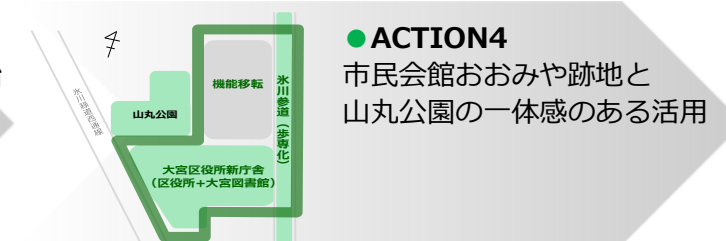
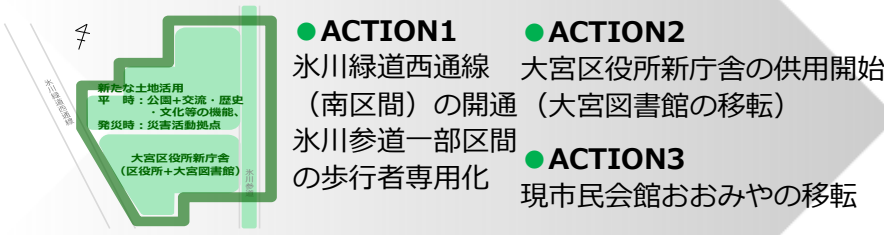
大宮駅
グランドセントラルステーション整備

概ねの
整備が完了

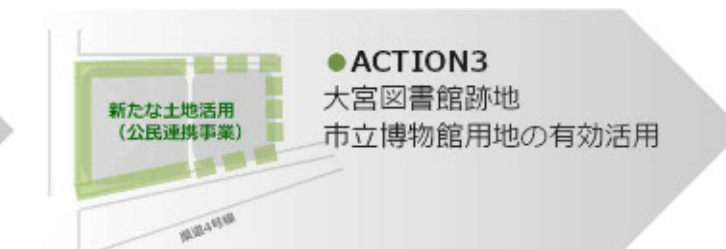
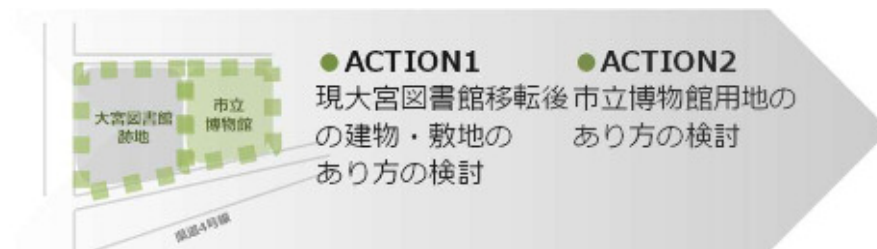
■駅前賑わい拠点（大宮区役所・大宮小学校）



■地域連携拠点（市民会館おおみや・山丸公園）



■氷川神社周辺エリア（大宮図書館・市立博物館）





連鎖型まちづくりの効果



連鎖型まちづくりと周辺のまちづくりとの連携イメージ

民間活力の導入による 効率的な都市再生

- 都市再生緊急整備地域の制度を活かしたインセンティブによる民間活力導入による土地の更なる高度利用や効率的に都市機能を導入。
- スピード感のあるまちづくりを展開し、東日本の玄関口としてふさわしい拠点性の向上に貢献。

面的な都市再生による 総合的な防災力の向上

- 建築物の建替による防災性の向上と周辺への連鎖的な波及による強靱で防災性の高い都市として更新。
- 建物更新に伴うオープンスペースは憩の場となるとともに、災害時の対応にも貢献し、安心・安全のまちづくりに寄与。

「公共施設再編による連鎖型まちづくり」の効果により「職」「住」「楽」「憩」などの機能がコンパクトに集積し、魅力的で創造的なライフスタイルを提供します。

東日本の玄関口として地域全体でおもてなしすることが出来るまちとなり、東日本の対流拠点となって、様々な地域との連携に貢献するまちとして成長します。

地域間の連携による 一体的な都心形成

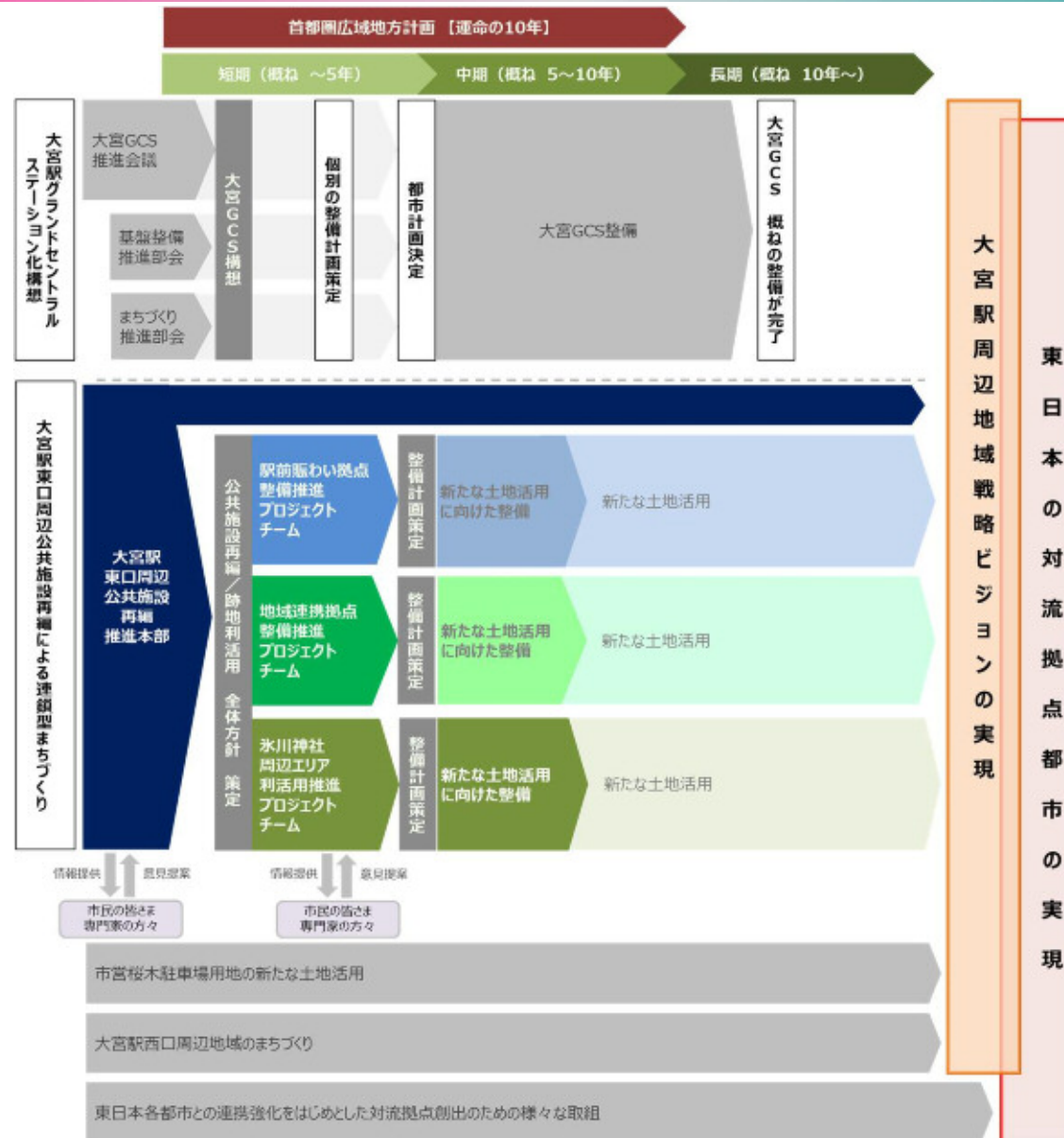
- まちづくりによる都市機能を導入・配置で、さいたま新都心駅周辺地域の都市機能と相互に補完し一体的な都心としての連続性を生み出すことが可能
- 街路整備等の基盤整備によって物理的な面での連続性の強化も図る。

東日本連携による 対流拠点機能の強化

- 大宮駅GCS化構想など、駅前まちづくりで導入する都市機能を補完する受皿の創出が可能。
- 例えばMICEなどの都市活動を展開し東日本との連携強化を図り、対流拠点としての役割を果たすことが期待出来る。



地区別整備の推進に向けた進め方



地区別整備計画の策定に向けた進め方



方針策定までの進め方

